

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	年次	2年次
使用教科書 (出版社)	新図説 家庭基礎 (実教出版)						
副教材等	資産形成と金融商品 (日本証券業協会) NISA が学べる投資ゲームなど						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

生活様式の多様化が進む現代社会において、生涯にわたる発達について学び、生活の充実向上や主体的に生活を営むことについて学び、今の時代にふさわしい知識とスキルで生きるための「基礎」となることを学びます。

### 2. 学習の到達目標

- ・生活を主体的に営む基礎的な理解を図り、それに関わる技能を身につける
- ・実践的・体験的な学習活動を通してさまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身につける
- ・課題解決する力を養い、実践的な態度を養う

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、かかわる技能を身につけている	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の基本的内容の素点</li> <li>・被服実習の作品内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の思考問題の素点</li> <li>・しかけ絵本の作品内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクト、調理実習の評価</li> <li>・実習への取り組み・態度</li> <li>・グループワークの姿勢</li> <li>・振り返りシートの内容</li> </ul>

#### 4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしい生き方と家族 生涯発達する人生、青年期を生きる／男女共同参画社会をめざして／家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題</li> <li>・食生活をつくる 私たちの食生活と健康／五大栄養素の働きとその栄養素を多く含む食品／食糧自給率と食のグローバル化／食の未来と環境への取り組み 調理実習 3 回</li> </ul> 定期考査
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者とかかわる 高齢者の心身の特徴／高齢者のサポートと介護の心</li> <li>・社会とかかわる 社会保障制度／社会の一員としての私たちの役割（公助・互助・共助）</li> <li>・子どもとかかわる 子どもの誕生／乳児の心身の発達／子どもの運動機能の発達と知的発達 DVD 視聴 子どもの生活習慣と健康／子どもの食生活・衣生活／子どもと遊び、仕掛け絵本製作／すこやかに育つ環境と支援／子どもを守る法律・制度 グループワーク（少子化対策について）</li> <li>・衣生活をつくる 人と衣服のかかわり／健康で安全な衣服／衣服素材の性能と改善／衣服の管理（洗濯・保管） 被服実習（スウェーデン刺繍のブックカバー製作）</li> <li>・住生活をつくる 住空間の計画／安全で持続可能な住まい</li> </ul> 定期考査
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動を考える 契約と主体的な消費行動／多様化する販売方法と問題商法／消費者を守る制度・法律／多様化する支払い方法（キャッシュレス決済パワーポイント）／持続可能な社会を目指す取り組み SDG s</li> <li>・経済的に自立する 家計について知る／家計のマネジメントについて考える／長期的な経済計画を立てる グループワーク（投資ゲーム／マネープランゲーム） 人生すごろくを利用して 1 年間のまとめ</li> </ul> 定期考査

## 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成